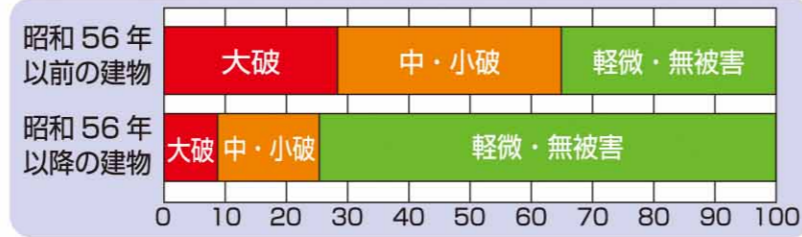
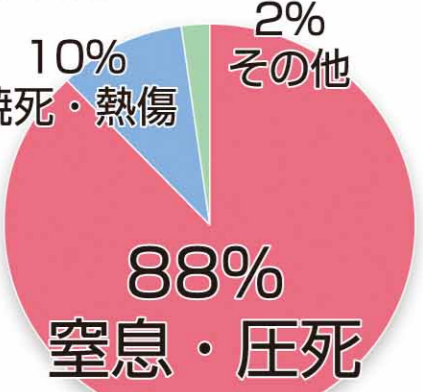


地域危険度マップとは

地域危険度マップは、美作市がゆれやすさマップに示されたゆれ(震度)となった場合に、建物の被害がどの程度生じるのかを相対的に表したものです。このマップを見て、自宅周辺やよく行く施設の安全性、自宅や学校、職場の耐震性の検討、家の中の危険箇所の確認に役立ててください。

地震被害の大半は建物被害

阪神・淡路大震災では、地震直後の死者の約9割の方が建物や家具の倒壊による窒息死や圧死でした。



なかでも昭和56年以前に建てられた古い建物は、倒壊するおそれが高くなっています。

生命や財産を守るために、建物の耐震化が重要です

こんな建物は要注意

古い建物のほかにも、下のイラストのような家は地震に弱いと言われています。あなたの家は本当にだいじょうぶ?



「全壊」とは

全壊とは、自然災害による建物の被害の程度の中でも、最も大きく被害を受けた状態を指します。具体的には、国によって「災害の被害認定基準」が定められ、「居住する上で危険な状態」を全壊としています。

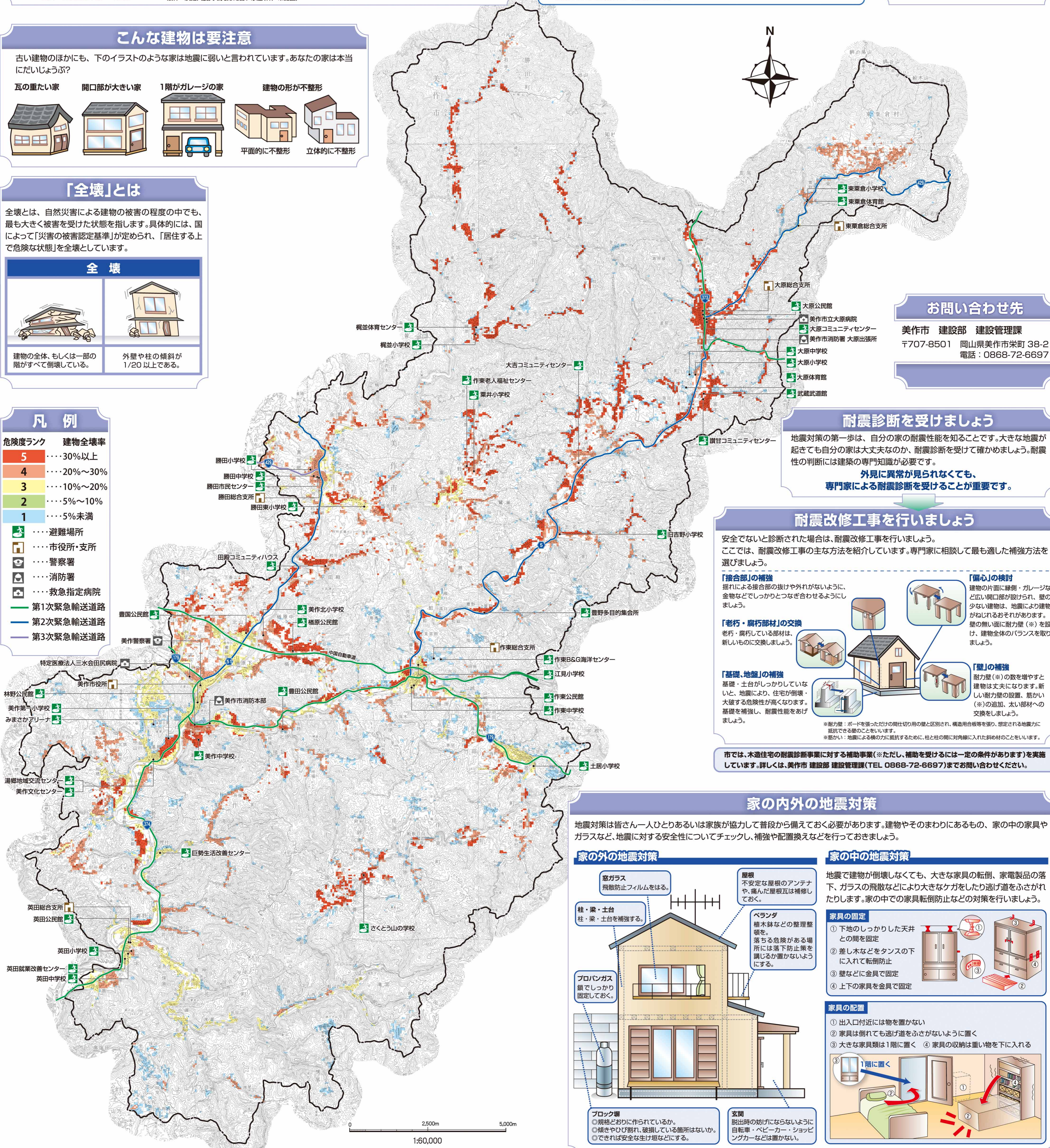
全壊



凡例

危険度ランク	建物全壊率
5	…30%以上
4	…20%~30%
3	…10%~20%
2	…5%~10%
1	…5%未満

…避難場所
 …市役所・支所
 …警察署
 …消防署
 …救急指定病院
 第1次緊急輸送道路
 第2次緊急輸送道路
 第3次緊急輸送道路



公共施設リスト

市役所・支所	電話番号	警察署	電話番号
美作市役所	0868-72-1111	美作警察署	0868-72-0110
勝田総合支所	0868-77-1111	消防署	電話番号
大原総合支所	0868-78-3111	美作市消防本部	0868-72-0119
東栗倉総合支所	0868-78-3133	美作市消防署 大原出張所	0868-78-0119
作東総合支所	0868-75-1111	救急指定病院	電話番号
英田総合支所	0868-74-3111	美作市立大原病院	0868-78-3121
		特定医療法人三水会田尻病院	0868-72-0380

避難場所リスト

地震災害時に長期滞在のできる避難場所のみ記載しております。平成22年4月現在

避難場所名	電話番号	避難場所名	電話番号
梶並体育センター	0868-77-2151	美作中学校	0868-72-1239
梶並小学校	0868-77-2010	豊田公民館	0868-73-0130
勝田小学校	0868-77-0350	美作北小学校	0868-72-0316
勝田中学校	0868-77-1250	巨勢生活改善センター*	0868-72-6657
勝田東小学校	0868-77-0202	田原コミュニティハウス*	0868-72-3787
勝田市民センター	0868-77-1111	楯原公民館	0868-73-0131
大原公民館*	0868-78-3111	みまさかアリーナ	0868-72-8818
大原コミュニティセンター	0868-78-4571	さくとう山の学校*	0868-75-1266
大原中学校	0868-78-2211	粟井小学校	0868-76-6320
大原小学校	0868-78-2031	作東老人福祉センター*	0868-76-0334
武蔵武道館	0868-78-7634	旧吉野小学校	0868-76-0033
讀甘コミュニティセンター	0868-78-0015	江見小学校	0868-75-0099
大原体育館	0868-78-3013	作東中学校	0868-75-0042
大吉コミュニティセンター	0868-78-2298	作東公民館*	0868-75-0890
東栗倉小学校	0868-78-3224	土居小学校	0868-75-0131
東栗倉体育館	0868-78-3683	豊野多目的集会所	0868-75-1977
豊田公民館	0868-72-8119	作東 B&G 海洋センター	0868-75-2441
温郷地域交流センター	0868-72-0783	英田中学校*	0868-74-2009
美作文化センター*	0868-72-3577	英田小学校	0868-74-2257
美作第一小学校	0868-72-1133	英田就業改善センター*	0868-74-2177
林野公民館*	0868-72-0201	英田公民館	0868-74-3111

※印のついた施設は耐震性が低いと判定され、順次対策を講じている建物です。被災時には安全性を確認のうえ避難場所として開設します。

家族で防災会議

家族で防災会議を開きましょう

地震の被害を最小限に食い止めるためには、日頃からの準備が大切です。災害はいつ起きるかわかりません。特に平日の昼間は家族が別の場所で被災することが考えられます。家族で定期的に防災会議を開いて、家族がどう行動するかを話し合っておきましょう。また、家族の中での役割分担も決めておきましょう。



家族の避難所や落ち合う場所

地震が発生した場合の避難所を確認しておき、実際に避難所まで歩いて避難経路を覚えておきましょう。家族が離れているときやバラバラになったときには、どこで落ち合うのか決めておきましょう。

安否確認の方法

家族の連絡方法を決めておきましょう。避難するときは自宅に避難先などの張り紙をし、安否を確認するルールを決めておきましょう。災害用伝言ダイヤルの体験利用を通して使い方に慣れておきましょう。

避難出口の確保

家の中で火災が発生してしまった場合、避難経路が一方だけでは炎や煙で避難できなくなってしまう恐れがあります。家の中で二方向の避難出口を確保しておきましょう。

お問い合わせ先

美作市 建設部 建設管理課
〒707-8501 岡山県美作市米町 38-2
電話: 0868-72-6697

耐震診断を受けましょう

地震対策の第一歩は、自分の家の耐震性能を知ることです。大きな地震が起きても自分の家は大丈夫なのか、耐震診断を受けて確かめましょう。耐震性の判断には建築の専門知識が必要です。

外見に異常が見られなくても、専門家による耐震診断を受けることが重要です。

耐震改修工事を行いましょう

安全でない診断された場合は、耐震改修工事を行いましょう。ここでは、耐震改修工事の主な方法を紹介します。専門家に相談して最も適した補強方法を選びましょう。

「接合部」の補強
揺れによる接合部の抜けや外れが、金物などでしっかりとつなぎ合わせるようにしましょう。

「老朽・腐朽部材」の交換
老朽・腐朽している部材は、新しいものに交換しましょう。

「基礎、地盤」の補強
基礎・土台がしっかりしていないと、地震により、住宅が倒壊・大破する危険性が高くなります。基礎を補強し、耐震性能をあげましょう。

「備心」の検討
建物の片側に縁側・ガレージなど広い開口部が設けられ、壁の少ない建物は、地震により建物がねじれるおそれがあります。壁の無い面に耐力壁(※)を設け、建物全体のバランスを取りましょう。

「壁」の補強
耐力壁(※)の数を増やすと建物は丈夫になります。新しい耐力壁の設置、筋かい(※)の追加、太い部材への交換をしましょう。

※耐力壁: ボードを張っただけの間仕切り用の壁と区別され、構造用合板等を通り、想定される地震力に抵抗できる壁のことをいいます。
※筋かい: 地震による横の力に抵抗するために、柱と柱の間に対角線に入れた斜め材のことをいいます。

市では、木造住宅の耐震診断事業に対する補助事業(※ただし、補助を受けるには一定の条件があります)を実施しています。詳しくは、美作市 建設部 建設管理課(TEL 0868-72-6697)までお問い合わせください。

家の内外の地震対策

地震対策は皆さん一人ひとりあるいは家族が協力して普段から備えておく必要があります。建物やそのまわりにあるもの、家の中の家具やガラスなど、地震に対する安全性についてチェックし、補強や配置換えなどを行っていきましょう。

家の外の地震対策

- 窓ガラス: 飛散防止フィルムをはる。
- 柱・梁・土台: 柱・梁・土台を補強する。
- プロパンガス: 鎖でしっかり固定しておく。
- 屋根: 不安定な屋根のアンテナや、痛んだ屋根瓦は補修しておく。
- ベランダ: 補木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には落下防止策を講じるか置かないようにする。
- ブロック塀: 規格どおりに作られているか。傾きやひび割れ、破損している箇所はないか。できれば安全な生け垣などにする。
- 玄関: 脱出時の妨げにならないように自転車・ベビーカー・ショベルカーなどは置かない。

家の中の地震対策

地震で建物が倒壊しなくても、大きな家具の転倒、家電製品の落下、ガラスの飛散などにより大きなケガをしたり逃げ道をふさがれたりします。家の中の家具転倒防止などの対策を行いましょう。

家具の固定

- 下地のしっかりした天井との間を固定
- 差し木などをタンスの下に入れて転倒防止
- 壁などに金具で固定
- 上下の家具を金具で固定

家具の配置

- 出入口付近には物を置かない
- 家具は倒れても逃げ道をふさがないように置く
- 大きな家具類は1階に置く
- 家具の収納は重い物を下に入れる